

スピノフの活用について

(担当：青柳)

1. はじめに

平成 29 年度税制改正によりスピノフが組織再編税制の中に位置づけられ、適格要件を満たすことにより譲渡損益や配当について課税の繰延べが可能となりました。また、平成 30 年度税制改正により組織再編における適格要件が緩和され、スピノフ前に行う 100%子法人への事業の切り出しやその後の事業の再配置が阻害されないための措置が講じられております。

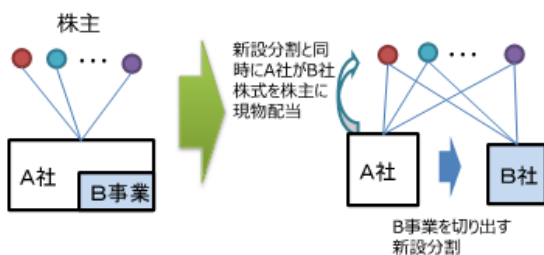
今回はこの「スピノフ」について、解説させていただきます。

2. スピノフとは

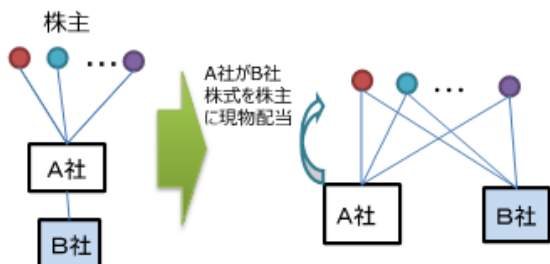
スピノフとは、企業の特定の事業部門を切り出して独立企業とすることをいいます。

主な手法としては、①新設分割により自社内の特定の事業を切り出すものと、②現物配当により子会社を切り出すものがあります。

①特定の事業をスピノフする場合



②完全子会社をスピノフする場合



(経済産業省資料を抜粋)

3. スピノフの効果

スピノフの効果として、経営の独立、資本の独立、上場の独立による企業価値の向上が期待されます。

経営の独立による効果	<ul style="list-style-type: none">□ 元の会社の経営者は中核事業に専念することが可能に。□ スピノフされた会社は迅速、柔軟な意思決定が可能に。経営者や従業員のモチベーションも向上。
資本の独立による効果	<ul style="list-style-type: none">□ スピノフされた会社の独自の資金調達により、従来は埋没していた必要な投資が実施可能に。□ 一方の会社のみを対象として第三者が出資することが容易に。□ スピノフされた会社の株式の価値に連動した株式報酬の導入が可能に。□ スピノフ実施前は自社グループの競合相手であった会社とも取引することが容易に。□ 企業結合を行う場合に併せてスピノフを活用することで、独禁法の企業結合規制に制約されにくくなる。
上場の独立による効果	<ul style="list-style-type: none">□ 各事業のみに関心のある投資家を引きつけることが可能に。□ コングロメリット・ディスカウント (注) の克服。 <p><small>(注) 複数の事業を営んでいる場合に、それらを個別に営む場合よりも、事業価値の総和が市場で低く評価されること。</small></p>

(経済産業省資料を抜粋)

4. 海外のスピノフ事例

米化学大手のデュポン社が高機能化学事業をケマーズ社としてスピノフしています。この例では、R&D が軸となる最先端の化学事業 (デュポン社) と成熟分野である高機能化学事業 (ケマーズ社) を分離することにより、それぞれの事業に適した投資家を引き付けることを可能としています。

米ネットオークション大手のイーベイ社が行ったスピノフの例では、イーベイ社の子会社である web 決済事業を営むペイパル社において、限定的であった親会社の競合他社 (アマゾン等) との取引が拡大され、企業価値の向上につながっています。

5. おわりに

制度面での環境整備により、スピノフを活用する企業が多く出てくることが期待されております。

このタイミングで一度スピノフによる企業価値の向上を検討してみてもはいかがでしょうか。